



岡山市水道事業審議会

第59回資料

平成30年1月31日(水) 14時00分～

岡山市水道局 3階 災害対策室

岡山市水道局

目 次

1. 岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編（平成24～28年度）
平成28年度取組実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編（平成24～28年度）
5年間の取組結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

3. 岡山市水道事業総合基本計画（アクアプラン2007）の総括について・ 20

4. 宅内修繕対応事業者のホームページ掲載について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

岡山市水道事業総合基本計画(アクアプラン 2007)

アクションプラン後期編〔平成24年度～平成28年度〕

平成28年度取組実績

平成28年度の事業費等

1 事業費

(単位：百万円)

項 目	H28	後期編 (H24～H28)		
	執行額	総事業費	執行額	執行率
1 安全でおいしい水の供給	66	925	1,776	192.0
2 信頼性の高い水道システムの確立	5,295	29,802	27,842	93.4
3 災害に強い水道づくり	505	1,451	1,528	105.3
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,441	2,216	4,548	205.2
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	6	41	26	63.4
6 資源循環型の水道システムの構築	71	478	658	137.7
合 計	8,384	34,913	36,378	104.2

2 「5 行財政改革の推進等による経営基盤強化」による効果額

項 目	H28 年度目標	H28 年度実績	備考
経費節減額	704 百万円	782 百万円	※H23 年度との比較
事務事業、組織機構の見直し	370 百万円	341 百万円	
支払利息	218 百万円	295 百万円	
職員数の目標	345 人	342 人	

企業債残高	255 億円	242 億円	
-------	--------	--------	--

平成28年度の主要施策の取組実績

☆ 水道施設・管路の計画的更新及び耐震化

信頼性の高い水道システムの確立

災害に強い水道づくり

◎ 水道施設の更新及び耐震化:1, 295百万円

老朽施設を計画的に更新することで将来にわたる安定給水を確保しています。

- ・ 三野浄水場薬品沈でん池更新工事の継続実施（～平成29年度）
- ・ 富山配水池築造工事の完了
- ・ 兼基加圧ポンプ場のポンプ及び電動機盤取替工事の完了 等



施工中の三野浄水場薬品沈でん池



完成した富山配水池

◎ 水道管の更新及び耐震化:4, 336百万円

赤水の発生や漏水及び破損事故を未然に防止し、安全で安定的な給水を確保するため、老朽化した水道管を中心に計画的に更新しています。更新に併せて、被害を極小化させ早期の給水復旧を図るため、新たに布設する水道管は耐震管を標準採用しています。



水道管の更新工事

- ・ 老朽管30.4kmの更新 等

※ 耐震化の状況

水道管耐震化率	16.2%	前年度比+1.0ポイント
基幹水道管耐震化率	41.9%	前年度比+0.1ポイント

《その他6本柱別主な取組結果》

◎ 水質検査機器の更新:38百万円

安全でおいしい水の供給

安全でおいしい水の供給を求めらるお客さまのニーズに答えるべく、正確かつ精度の高い検査を行うため、水質検査機器を更新しました。

◎ 鉛製給水管の解消:7百万円

水質の安全性確保及び漏水を防止するため、公道部分の鉛製給水管139戸を解消しました。《平成28年度末解消率:92.1%》

◎ 水道水源の保全:6百万円

清浄・豊富な水源を維持するために、旭川水源地域の鏡野町・新庄村で水源林の保育・整備を行いました。



職員による下刈作業

◎ 本局庁舎の整備:2,038百万円

大規模災害時には災害対策本部が設置される重要施設であり、水道サービスの拠点となる本局新庁舎の建設が完了しました。

お客様の満足に答える水道づくり

災害に強い水道づくり



完成した本局新庁舎

◎ 応急復旧・給水体制の整備:15百万円

災害に強い水道づくり

大規模災害時等の非常時においても迅速に給水を確保するため、給水車、組立式給水タンク、応急給水スタンドを整備したほか、他の事業者等と連携した防災訓練を実施し、応急復旧・給水体制を強化しました。



給水車 (1.8m³)



組立式給水タンク (1.0m³)

- 給水車(1.8m³)1台を整備しました
- 組立式給水タンク(1.0m³)2基を整備しました
- 応急給水スタンド7基を整備しました
- 防災訓練を年3回実施しました

◎ 広報・広聴の充実:10百万円

お客様の満足に答える水道づくり

水道の重要性や水の大切さについて理解を深めていただくため、引き続き登録有形文化財に指定されている水道記念館等を活用し、各種イベントや啓発活動を行うとともに、市内小学校や公民館へ伺い、水道水ができる過程等を学習していただくために出前講座を行いました。

また、新たな取組として、SNS（フェイスブック）の活用や、ライフライン事業者である岡山ガス株式会社、中国電力株式会社と合同でイベントを開催することにより、より多くの方々に関心や興味を持っていただけるような広報活動を実施しました。



イベントの様子



出前講座の様子

◎ 行財政改革の推進

行財政改革の推進等による経営基盤強化

よりスリムで効率的な事業運営を目指し、適宜組織及び事務事業の見直しを行っています。併せて、将来の財政負担の削減及び財政基盤の強化を図るため、引き続き企業債残高及び支払利息の削減を行いました。

- 事務事業等の見直しにより341百万円の経費を削減しました
- 企業債支払利息を295百万円削減しました
- 企業債残高を58億円削減しました。(企業債残高242億円)

※ 上記数値は、計画策定時との比較

アクションプラン後期編 平成28年度取組実績一覧

アクアプラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
安全でおいしい水の供給	水道水源の保全	水源林事業の継続実施	水源林事業 (鏡野町、新庄村)	間伐実施面積	5ha	5.6ha	◎
				枝打実施面積	4ha	4ha	○
		水源水質の保全	河川水質状況の把握	ダム湖状況の把握回数	5回/週	5回/週	○
				水源の水質検査実施回数	2回/年	2回/年	○
浄水処理のレベルアップ	カビ臭対策の実施	粒状活性炭の調査研究	研究結果の報告	研究結果の報告	研究結果の報告済	○	
		旭東浄水場 活性炭注入設備工事	かび臭からみたおいしい水達成率 70%	70%	82%	◎	
	残留塩素の低減化	残塩WEBシステムの確立	検査測定箇所数	427箇所	527箇所	◎	
	浄水処理方法の調査・研究	大内浄水場 生物処理調査・研究	研究結果の報告	研究結果の報告	研究結果の報告済	○	
		川口浄水場 上向きろ過処理調査・研究	研究結果の報告	研究結果の報告	研究結果の報告済	○	
水質検査・管理体制の充実	水質検査機器の整備(水質監視システムの拡大)	水質検査機器の更新	機器の更新率	100.0%	109.2%	◎	
	水道GLPの継続認証(水道GLPの取得)	水道GLPの継続	水道GLPの更新	認証継続	認証継続	○	
給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事業 者研修会の開催	研修参加率	95% (H26)	95.6% (H26)	○	
		パンフレット等による周知 広報	給水装置管理 責任認知率	100.0%	35.1%	×	
	貯水槽水道維持 管理の啓発(貯水 槽水道維持管理 の啓発及び巡回 点検サービスの強 化)	貯水槽水道維持管理の啓 発	貯水槽管理責 任認知率	90.0%	65.4%	×	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成。
「△」その他

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
		直結給水システムの拡大	直結給水の推進	新規直結給水届出件数	69件	169件	◎
			直結給水方式への切替え促進	切替件数	18件	11件	×
		鉛製給水管の早期解消	鉛製給水管解消事業の推進	鉛製給水管の解消(第2期解消計画)	鉛製給水管解消率	100.0%	92.1%
信頼性の高い水道システムの確立	水需要に応じた安定施設整備 運用・管理機能の強化	必要水源の確保と水源の見直し	灘崎地区給水整備(高区エリア)	検討結果を出す	検討結果	検討済	○
			旭東浄水場配水制御システム更新	システムの更新状況	完了	完了	○
		半田山配水池調整弁更新	影響世帯数	0世帯	165,000世帯	×	
		水源の見直しによる施設の効率的再編	御津地区基幹施設整備・矢原第2配水池	更新状況	完了	完了	○
			旭東浄水場集中監視制御更新	更新状況	完了	着手	×
		施設のレベルアップ	三野浄水場薬品沈澱池施設更新及び着水井築造	三野浄水場耐震施設数	5箇所	5箇所	○
			瀬戸地区基幹施設整備 大内-マンガン処理施設	大内浄水場対応作業時間	180日・人	180日・人	○
			建部地区基幹施設整備 川口-表流処理施設	有人作業時間	482日・人	482日・人	○
		老朽管の計画的更新	老朽管の更新	更新延長	240km	276km	◎
			基幹配水管(口径400mm以上)の更新	更新延長	15km	9km	×
			配水支管(口径350mm以下)の更新	更新延長	225km	267km	◎
			石綿管の更新	石綿管解消率	100%	98.6%	×
		災害に強い水道づくり	リスク管理体制の充実(災害被害の未然防止)	施設の計画的耐震化 ・操山配水池耐震補強及び2池化 ・△矢原第2配水池	配水池耐震化率	43.4%	57.9%
基幹加圧ポンプ場の耐震化 ・矢坂山加圧ポンプ場	加圧ポンプ場耐震化率			30.8%	48.8%	◎	
基幹浄水施設の耐震化 ・△三野薬品沈澱池	三野浄水場耐震施設数			5箇所	5箇所	○	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成。
「△」その他

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価	
					目標値	実績値		
	配水管網の耐震化	配水管の耐震化	管路耐震化率(全体)	15.0%	16.2%	◎		
		△基幹配水管(口径400mm以上)の更新及び耐震化	基幹管路耐震化率	29.4%	41.9%	◎		
		医療施設等への配水管の耐震化	浄水場から医療施設までの水道管耐震化実施数	3箇所	14箇所	◎		
	浄水場自家発電設備の充実	非常用発電機更新計画の策定	計画の策定	計画策定	策定済	○		
		三野浄水場非常用発電機整備	診断結果良判定	診断結果良	診断結果良	○		
	危機管理体制の充実(災害発生時の対応)	配水池の2池化及び緊急遮断弁の設置	鳥打山配水池2池化 △操山配水池耐震補強及び2池化 △矢原第2配水池(緊急遮断弁の設置含む)	緊急時確保水量対象人口	548,700人	549,500人	◎	
		応急復旧体制の整備	防災訓練の実施	防災訓練の実施	年3回	年3回	○	
		受水の効果的運用と水源間の連絡管整備	受水系水道施設の取得検討	取得可否の結論を出す	検討結果を出す	検討済	○	
			周辺市町村との連絡管整備検討	実施可否の結論を出す	検討結果を出す	検討済	○	
		NAS電池の検討	NAS電池の検討	実施可否の結論を出す	検討結果を出す	検討済	○	
	お客様の満足に 応える水道 づくり	徴収事務の効率化	検針から収納まで一貫した料金徴収業務の効率化	検針・滞納整理・清算業務等の一括委託	収納率	99.80%	99.84%	◎
		広報・広聴の充実	ITを活用する広報(お客様に伝える広報)	局ホームページのアクセス数向上	アクセス数	80,000件	76,667件	×
お客様が参加する広報(子どもに伝える教育プログラムの実施)			水道フェア、岡山市水道の日記念行事、水の実験工作室等のイベント開催	来場者数	3,500人	4,660人	◎	
			小学校等への出前講座	実施回数	7回	9回	◎	
お客様の思いを大切にする広聴(インターネットモニターの拡充等による広聴の充実)			水道利用者意識調査の実施	アンケートの実施	実施	実施済	○	
サービス拠点の整備		庁舎等の整備	東水道センター庁舎整備	庁舎の整備	完了	完了	○	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成。
「△」その他

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
行財政改革の推進等による経営基盤強化	継続的な行財政改革	事務事業の見直しと組織・機構の整備(時代のニーズにあった事務事業・組織・機構の再編整備)	事務事業、組織・機構の見直し	行財政効果額	370百万円	341百万円	×
		職員数の適正化(定員管理の適正化)	職員数の目標	職員数	345人	342人	◎
		増収施策の推進(資産の有効活用など増収策の拡大)	未利用土地の売却、貸付	売却件数	1件	4件	◎
			検針票裏面への広告掲載	広告収入額	63万円	22万円	×
			水質検査業務の受託	受託金額	750万円	523万円	×
	財政基盤の強化	企業債残高の削減	企業債残高の削減	企業債残高	255億円	242億円	◎
			対前年度削減額	10億円	11億円	◎	
			支払利息の削減額	218百万円	295百万円	◎	
	組織の活性化と技術の継承	研修内容の充実(研修体制の充実)	実務研修・一般研修の実施	1人あたり研修時間	18.2時間	15.0時間	×
		国際会議、海外への職員派遣(国際会議、海外派遣等の推進)	国際協力機構(JICA)等を通じた海外派遣	年間交流参加人数	1人	0人	×
協働による水道事業	お客様との協働活動の推進(市民等とのパートナーシップの推進)	局防災訓練への地元住民等の参加呼びかけ	実施回数	年1回	年1回	○	
資源循環型の水道システムの構築	環境マネジメントシステムの改善	環境マネジメントシステムの運用(ISO14001※による環境負荷低減の継続的な取組)	独自EMSの運用	目標設定の見直し	目標設定の見直し	目標設定の見直し	○
		水の有効利用	漏水防止事業の推進・有収率の向上	漏水防止事業	有収率	90.0%	90.8%

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成。「△」その他

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
	資源リサイクルの推進	浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用	有効利用率	100.0%	100.0%	○
	CO2削減の促進	水道施設の省エネルギー化	エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく計画的事業の推進	エネルギー消費原単位	0.645kl/m ³	0.669kl/m ³	×
		小水力発電設備の設置(小水力発電の検討)	小水力発電設備の設置	設備の設置	後期編期間内で1基設置	設置済	○

【実績値が目標値に届かなかったが「×:目標未達成」としなかった項目】

安全でおいしい水の供給	浄水処理のレベルアップ	残留塩素の低減化	水質監視局の設置	設置箇所数	22箇所	12箇所	○
				【理由】残留WEBシステムの検査測定箇所が527箇所となったことで、導入済機器との運用で当初目的を達成。これ以上の設置が不要になった。			
			追塩設備の設置	設置箇所数	27箇所	18箇所	○
				【理由】残留WEBシステムと適量放水の運用により当初目的達成。これ以上の設置が不要になった。			
			残留塩素復活装置の設置	設置箇所数	11箇所	2箇所	○
				【理由】残留WEBシステムと適量放水の運用により当初目的達成。これ以上の設置が不要になった。			
	給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事業者研修会の開催	研修有効率	95% (H26開催)	未算出	△
				【理由】全国共通のテキスト・カリキュラムで周辺市町村と共同開催した研修のため試験・アンケート無し。指標値未算出のため△。			
信頼性の高い水道システムの確立	運用・管理機能の強化	水源の見直しによる施設の効率的再編	御津地区水源調査	揚水可能量	6,800m ³	4,200m ³	○
				【理由】6,800m ³ は調査の予想値。水源調査済みで、調査結果に基づき再編計画検討中のため○。			

集計	◎	22	31.9%
	○	31	44.9%
	×	15	21.7%
	△	1	1.4%
	合計	69	100.0%

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成。「△」その他

岡山市水道事業総合基本計画(アクアプラン 2007)

アクションプラン後期編(平成24年度～28年度)

5年間の取組結果について

1 アクションプラン後期編 取組結果

① 事業費

(単位：百万円)

項目	計画事業費	執行額	執行率
1 安全でおいしい水の供給	925	1,776	192.0%
2 信頼性の高い水道システムの確立	29,802	27,842	93.4%
3 災害に強い水道づくり	1,451	1,528	105.3%
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,216	4,548	205.2%
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	41	26	63.4%
6 資源循環型の水道システムの構築	478	658	137.7%
合計	34,913	36,378	104.2%

② 主な実施内容

安全でおいしい水の供給

○クリプトスポリジウム対策の推進：13億2千万円

◇三野浄水場1・2号急速ろ過池の更新

○鉛製給水管の解消：2億9千7百万円

◇公道部分の鉛製給水管解消 2,263戸

○水質検査機器の更新：1億9百万円

◇水質検査機器更新

・ガスクロマトグラフ質量分析計

・液体クロマトグラフ質量分析計 等

※どちらも、農薬項目等を検査する機器



更新後の三野浄水場急速ろ過池

○水源林事業の実施：2千8百万円

- ◇鏡野町、新庄村で間伐、枝打ち等実施

信頼性の高い水道システムの確立

災害に強い水道づくり

○水道施設の更新及び耐震化：54億4千7百万円

- ◇富山配水池の築造
- ◇旭東浄水場配水制御システムの更新
- ◇矢原第2配水池の築造
- ◇操山配水池の2池化・耐震化 等



富山配水池

○水道管路の更新及び耐震化：230億8千4百万円

- ◇中央幹線配水管の布設（三野～番町間 約2.5km 口径1200mm～800mm）
- ◇老朽管276.2kmの更新 等

○応急復旧・給水体制の整備：2千2百万円

- ◇災害時、緊急時における支援等の協定を他都市や民間団体と締結
 - ・災害時における燃料供給の相互協力に関する覚書（神戸市・新潟市）
 - ・災害時等における支援及び協力に関する協定（第一環境株式会社）
 - ・緊急時燃料供給協力事業者登録制度 等
- ◇災害時等に使用する資機材の購入
 - ・AT給水車1台、組立式給水タンク2基 等

お客様の満足に応える水道づくり

○本局庁舎の整備：23億5千8百万円

○広報・広聴の充実：5千2百万円

- ◇各種イベント実施（岡山ドーム、水道記念館等）
- ◇広報紙やホームページ、フェイスブックで寒波対策や防災情報等を発信
- ◇市内小学校や公民館で水道出前講座を実施



水道出前講座

行財政改革の推進等による経営基盤強化

○行財政改革及び経営基盤強化

項目	目標	実績	備考
経費節減額	2,306百万円	3,229百万円	5年間の削減累計額
事務事業、組織機構の見直し	1,250百万円	1,729百万円	〃
支払利息の削減	746百万円	1,001百万円	〃
職員数	345人	342人	5年間の削減数 18人
企業債残高	255億円	242億円	5年間の削減額 58億円

○組織の活性化と技術の継承：2千6百万円

◇局内一般研修、○J T実施

◇維持管理、応急給水に関する技術研修実施

資源循環型の水道システムの構築

○漏水防止事業の推進：3億2千4百万円

○小水力発電設備の設置：2億3千3百万円



小水力発電設備

③ 成果指標別 取組結果

評価	比率	件数
○	79.7%	55
×	18.8%	13
△	1.5%	1
合計	100.0%	69

○取組結果一覧 別冊参照

アクションプラン後期編 取組結果一覧（別冊）

アクアプラン6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	現状値	年度別実績					評価 「○」達成 「×」未達成 「△」その他		
						H23	区分	H24	H25	H26		H27	H28
安全でおいしい水の供給	水道水源の保全	水源林事業の継続実施	水源林事業（鏡野町、新庄村）	間伐実施面積	13ha	目標	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	○ (※1)	
					実績	0ha	4.4ha	9ha	5ha	5.6ha			
				枝打実施面積	5ha	目標	/	4ha	4ha	3ha	4ha	○	
			実績		/	4.4ha	4ha	3ha	4ha				
			水源水質の保全	河川水質状況の把握	ダム湖状況の把握回数	5回/週	目標	5回/週	5回/週	5回/週	5回/週	5回/週	○
						実績	5回/週	5回/週	5回/週	5回/週	5回/週		
	水源の水質検査実施回数	2回/年			目標	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	○		
		実績	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年						
	浄水処理のレベルアップ	カビ臭対策の実施	粒状活性炭の調査研究	研究結果の報告	未着手	目標	調査・研究	調査・研究	研究結果の報告	/	/	○	
					実績	調査・研究	調査・研究	研究結果の報告	/	/			
		旭東浄水場活性炭注入設備工事	かび臭からみたおいしい水達成率	70%	40%	目標	65%	65%	65%	65%実施・完了	70%	○	
					実績	65%	65%	65%	65%	82%			
残留塩素の低減化		残塩WEBシステムの確立	検査測定箇所数	427箇所	目標	427箇所	427箇所	427箇所	427箇所	427箇所	○		
					実績	427箇所	521箇所	521箇所	521箇所	527箇所			
浄水処理方法の調査・研究	大内浄水場生物処理調査・研究	研究結果の報告	研究中	目標	研究結果の報告	/	/	/	/	○			
				実績	研究結果の報告	/	/	/	/				
川口浄水場上向きろ過処理調査・研究	研究結果の報告	研究中	目標	研究中	研究結果の報告	/	/	/	○ (※2)				
			実績	研究中	研究中	研究結果の報告	/	/					
水質検査・管理体制の充実	水質検査機器の整備(水質監視システムの拡大)	水質検査機器の更新	機器の更新率	—	目標	22.8%	42.5%	60.4%	78.7%	100.0%	○ (※2)		
				実績	17.5%	29.7%	56.8%	71.8%	109.2%				
	水道GLPの継続認証(水道GLPの取得)	水道GLPの継続	水道GLPの更新	更新	目標	認証継続	認証継続	認証継続	更新	認証継続	○		
					実績	認証継続	認証継続	認証継続	更新	認証継続			
給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事事業者研修会の開催	研修参加率	90.1%	目標	/	/	95.0%	/	/	○		
				実績	/	/	95.6%	/	/				
			パンフレット等による周知広報	給水装置管理責任認知率	—	目標	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%	×	
	実績	43.8%			43.1%	45.0%	45.2%	35.1%					
	貯水槽水道維持管理の啓発	貯水槽水道維持管理の啓発	貯水槽管理責任認知率	—	目標	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	×		
					実績	78.8%	65.7%	72.5%	69.1%	65.4%			

※1 単年度目標数値に未達成があるが、5年間の総計比較で目標値を実績値が超えていたり、概ね達成していることから目標達成に加えたもの。
 ※2 目標年度に達成していないが、5年間の間に達成していることから○としたもの。

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	現状値	年度別実績					評価 「○」達成 「×」未達成 「△」その他	
						H23	区分	H24	H25	H26		H27
		直結給水システムの拡大	直結給水の推進	新規直結給水届出件数	46件	目標	50件	55件	59件	64件	69件	○
						実績	85件	97件	99件	141件	169件	
		直結給水方式への切替え促進	切替件数	12件	目標	13件	14件	16件	17件	18件	○ (※1)	
					実績	15件	13件	21件	23件	11件		
	鉛製給水管の早期解消	鉛製給水管解消事業の推進	鉛製給水管の解消(第2期解消計画)	鉛製給水管解消率100%	80.4%	目標	85.3%	90.2%	94.7%	98.1%	100.0%	×
						実績	84.9%	88.5%	90.6%	91.5%	92.1%	
信頼性の高い水道システムの確立	水需要に応じた安定施設整備	必要水源の確保と水源の見直し	灘崎地区給水整備(高区エリア)	検討結果を出す	未着手	目標	/	/	/	/	検討結果を出す	○
						実績	/	/	検討済	/	/	
	運用・管理機能の強化	効率的な水運用	旭東浄水場配水制御システム更新	システムの更新状況	未着手	目標	着手	完了	/	/	/	○
						実績	着手	完了	/	/	/	
			半田山配水池調整弁更新	影響世帯数	165,000世帯	目標	165,000世帯	165,000世帯	165,000世帯	0世帯(完了)	/	×
						実績	165,000世帯	165,000世帯	165,000世帯	165,000世帯	165,000世帯	
水道施設の計画的更新	水源の見直しによる施設の効率的再編	御津地区基幹施設整備・矢原第2配水池	更新状況	更新状況	未着手	目標	着手	実施	完了	/	/	○
						実績	着手	実施	完了	/	/	
		施設のレベルアップ	旭東浄水場集中監視制御更新	更新状況	未着手	目標	/	/	着手	完了	/	×
						実績	/	/	/	/	着手	
			三野浄水場薬品沈澱池施設更新及び着水井築造	三野浄水場耐震施設数	4箇所	目標	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	○
						実績	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	
			瀬戸地区基幹施設整備大内-マンガン処理施設	大内浄水場対応作業時間	185日・人	目標	185日・人	180日・人	180日・人	180日・人	180日・人	○
						実績	185日・人	180日・人	180日・人	180日・人	180日・人	
			建部地区基幹施設整備川口-表流処理施設	有人作業時間	482日・人	目標	482日・人	482日・人	482日・人	482日・人	482日・人	○
						実績	482日・人	482日・人	482日・人	482日・人	482日・人	
老朽管の計画的更新		老朽管の更新	更新延長240km	更新延長240km	63km	目標	99km	133km	169km	204km	240km	○
						実績	122km	165km	209km	246km	276km	
		基幹配水管(口径400mm以上)の更新	更新延長15km	更新延長15km	5km	目標	6km	11km	14km	14km	15km	×
						実績	7km	8km	9km	9km	9km	
		配水支管(口径350mm以下)の更新	更新延長225km	更新延長225km	58km	目標	93km	122km	155km	190km	225km	○
						実績	115km	157km	200km	237km	267km	
		石綿管の更新	石綿管解消率100%	石綿管解消率100%	90.3%	目標	93.5%	96.8%	100.0%	/	/	×
						実績	94.2%	96.4%	96.8%	97.7%	98.6%	

※1 単年度目標数値に未達成があるが、5年間の総計比較で目標値を実績値が超えていたり、概ね達成していることから目標達成に加えたもの。

※2 目標年度に達成していないが、5年間の間に達成していることから○としたもの。

アクアプラン6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	現状値	年度別実績					評価 「○」達成 「×」未達成 「△」その他	
						H23	区分	H24	H25	H26		H27
災害に強い水道づくり	リスク管理体制の充実(災害被害の未然防止)	施設の計画的耐震化	基幹配水池の耐震化 ・操山配水池耐震補強及び2池化 ・△矢原第2配水池	配水池耐震化率 43.4%	41.7%	目標	42.7%	42.7%	43.4%	/	/	○
						実績	43.2%	43.2%	57.9%	57.9%	57.9%	
			基幹加圧ポンプ場の耐震化 ・矢坂山加圧ポンプ場	加圧ポンプ場耐震化率 30.8%	19.5%	目標	30.8%	/	/	/	/	○
						実績	37.1%	43.1%	44.0%	48.8%	48.8%	
			基幹浄水施設の耐震化 ・△三野薬品沈澱池	三野浄水場耐震施設数	4箇所	目標	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	○
						実績	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	
		配水管網の耐震化	配水管の耐震化	管路耐震化率(全体) 15.0%	8.0%	目標	9.4%	10.8%	12.2%	13.6%	15.0%	○
						実績	11.0%	12.6%	14.0%	15.2%	16.2%	
		△基幹配水管(口径400mm以上)の更新及び耐震化	基幹管路耐震化率 29.4%	25.8%	目標	26.5%	27.9%	29.0%	29.0%	29.4%	○	
					実績	37.8%	40.0%	40.4%	41.8%	41.9%		
		医療施設等への配水管の耐震化	浄水場から医療施設までの水道管耐震化実施数	0箇所	0箇所	目標	0箇所	1箇所	1箇所	2箇所	3箇所	○(※1)
						実績	0箇所	0箇所	2箇所	9箇所	14箇所	
		浄水場自家発電設備の充実	非常用発電機更新計画の策定	計画の策定	未着手	目標	着手	計画策定	/	/	/	○(※2)
						実績	着手	策定中	策定済	/	/	
三野浄水場非常用発電機整備	診断結果良判定	診断結果不良	診断結果不良	目標	診断結果良	/	/	/	/	○(※2)		
				実績	着手	診断結果良	/	/	/		/	
危機管理体制の充実(災害発生時の対応)	配水池の2池化及び緊急遮断弁の設置	鳥打山配水池2池化 △操山配水池耐震補強及び2池化 △矢原第2配水池(緊急遮断弁の設置含む)	緊急時確保水量対象人口 548,700人	535,800人	目標	541,400人	541,400人	548,700人	548,700人	548,700人	○	
					実績	545,900人	545,900人	549,500人	549,500人	549,500人		
	応急復旧体制の整備	防災訓練の実施	防災訓練の実施 3回/年	年3回	目標	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	○	
					実績	年5回	年4回	年4回	年6回	年3回		
	受水の効果的運用と水源間の連絡管整備	受水系水道施設の取得検討	取得可否の結論を出す	未着手	目標	着手	検討結果を出す	/	/	/	○(※2)	
					実績	未着手	未着手	検討済(否)	/	/		/
	周辺市町村との連絡管整備検討	実施可否の結論を出す	未着手	目標	着手	検討結果を出す	/	/	/	○(※2)		
				実績	未着手	未着手	検討中	検討中	検討済(否)			
	NAS電池の検討	NAS電池の検討	実施可否の結論を出す	未着手	目標	/	/	/	着手	検討結果を出す	○	
					実績	/	/	検討済(否)	/	/		/
お客様の満足に応える水道づくり	徴収事務の効率化	検針から収納まで一貫した料金徴収業務の効率化	取納率	99.78%	目標	99.78%	99.79%	99.79%	99.79%	99.80%	○	
					実績	99.81%	99.81%	99.82%	99.84%	99.84%		
	広報・広聴の充実	ITを活用する広報(お客様に伝える広報)	局ホームページのアクセス数向上	アクセス数	74,582件	目標	76,000件	77,000件	78,000件	79,000件	80,000件	×
						実績	75,110件	73,888件	76,581件	76,459件	76,667件	

※1 単年度目標数値に未達成があるが、5年間の総計比較で目標値を実績値が超えていたり、概ね達成していることから目標達成に加えたもの。

※2 目標年度に達成していないが、5年間の間に達成していることから○としたもの。

アクアプラン6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	現状値	年度別実績					評価 「○」達成 「×」未達成 「△」その他		
						H23	区分	H24	H25	H26		H27	H28
		お客様が参加する広報(子どもに伝える教育プログラムの実施)	水道フェア、岡山市水道の日記念行事、水の実験工作室等のイベント開催	来場者数	3,000人	目標	3,300人	3,500人	3,500人	3,500人	3,500人	○	
					実績	3,671人	4,098人	3,630人	4,102人	4,660人			
		小学校等への出前講座	実施回数	5回	目標	7回	7回	7回	7回	7回	○ (※1)		
					実績	5回	6回	9回	5回	9回			
		お客様の思いを大切に する広報(インターネットモニター の拡充等による広報 の充実)	水道利用者意識調査の実施	アンケートの実施	3~5年ごとに実施	目標				実施	○		
						実績				実施			
	サービス拠点の整備	庁舎等の整備	東水道センター庁舎整備 本局庁舎整備	庁舎の整備	未着手	目標	整備	整備	完了		○		
						実績	協議	整備	完了 (東水道センター)			完了 (本局)	
	行財政改革の推進等による 経営基盤強化	継続的な行財政改革	事務事業の見直しと組織・機構の整備 (時代のニーズにあった事務事業・組織・機構の再編整備)	事務事業、組織・機構の見直し	行財政効果額	-	目標	120百万円	170百万円	270百万円	320百万円	370百万円	○ (※1)
							実績	414百万円	405百万円	329百万円	240百万円	341百万円	
			職員数の適正化 (定員管理の適正化)	職員数の目標	職員数	360人	目標	358人	355人	352人	350人	345人	○
							実績	351人	349人	348人	348人	342人	
増収施策の推進 (資産の有効活用など増収策の拡大)			未利用土地の売却、貸付	売却件数	-	目標	1件	1件	1件	1件	1件	○ (※1)	
						実績	3件	0件	1件	1件	4件		
			検針票裏面への広告掲載	広告収入額	42万円	目標	63万円	63万円	63万円	63万円	63万円	×	
						実績	21万円	21万円	22万円	22万円	22万円		
			水質検査業務の受託	受託金額	738万円	目標	750万円	750万円	750万円	750万円	750万円	×	
						実績	547万円	554万円	552万円	552万円	523万円		
財政基盤の強化		企業債残高の削減	企業債残高の削減	企業債残高	308億円	目標	296億円	284億円	275億円	265億円	255億円	○	
						実績	286億円	274億円	262億円	253億円	242億円		
			対前年度削減額	-	目標	12億円	12億円	9億円	10億円	10億円	○ (※1)		
					実績	14億円	12億円	12億円	9億円	11億円			
			支払利息の削減額	-	目標	49百万円	130百万円	160百万円	189百万円	218百万円	○		
					実績	62百万円	179百万円	213百万円	251百万円	295百万円			
組織の活性化と技術の継承	研修内容の充実 (研修体制の充実)	実務研修・一般研修の実施	1人あたり研修時間	17.9時間	目標	18.0時間	18.0時間	18.1時間	18.1時間	18.2時間	×		
					実績	15.8時間	12.6時間	14.9時間	11.6時間	15.0時間			
	国際会議、海外への職員派遣 (国際会議、海外派遣等の推進)	国際協力機構(JICA)等を通じた海外派遣	年間交流参加人数	1人	目標	1人	1人	1人	1人	1人	×		
					実績	0人	0人	0人	0人	0人			
協働による水道事業	お客様との協働活動の推進 (市民等とのパートナーシップの推進)	局防災訓練への地元住民等の参加呼びかけ	実施回数	年1回	目標	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	○		
					実績	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回			

※1 単年度目標数値に未達成があるが、5年間の総計比較で目標値を実績値が超えていたり、概ね達成していることから目標達成に加えたもの。

※2 目標年度に達成していないが、5年間の間に達成していることから○としたもの。

アクアプラン6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	現状値	年度別実績					評価 「○」達成 「×」未達成 「△」その他	
						H23	区分	H24	H25	H26		H27
資源循環型の水道システムの構築	環境マネジメントシステムの改善	環境マネジメントシステムの運用	独自EMSの運用	目標設定の見直し	継続運用	目標	継続運用	目標設定の見直し	継続運用	継続運用	目標設定の見直し	○
						実績	継続運用	目標設定の見直し	継続運用	継続運用	目標設定の見直し	
	水の有効利用	漏水防止事業の推進・有収率の向上	漏水防止事業	有収率	89.0%	目標	89.4%	89.6%	89.7%	89.9%	90.0%	○
						実績	90.3%	90.6%	90.5%	90.0%	90.8%	
	資源リサイクルの推進	浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用	有効利用率	98.2%	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	○
						実績	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	CO2削減の促進	水道施設の省エネルギー化	エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく計画的事業の推進	エネルギー消費原単位	0.686kl/m ³	目標	0.672kl/m ³	0.665kl/m ³	0.658kl/m ³	0.652kl/m ³	0.645kl/m ³	×
						実績	0.676kl/m ³	0.676kl/m ³	0.666kl/m ³	0.657kl/m ³	0.669kl/m ³	
		小水力発電設備の設置(小水力発電の検討)	小水力発電設備の設置	設備の設置	未着手	目標	調査・研究 後期編期間内で1基設置					○
						実績	調査・研究	着手	完了			

【実績値が目標値に届かなかったが「×：目標未達成」としなかった項目】

安全でおいしい水の供給	浄水処理のレベルアップ	残留塩素の低減化	水質監視局の設置	設置箇所数22箇所	13箇所	目標	13箇所	16箇所	16箇所	16箇所	22箇所	○		
						実績	13箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所			
			理由 残留WEBシステムの検査測定箇所が527箇所となったことで、導入済機器との運用で当初目的を達成。これ以上の設置が不要になった。											
			追塩設備の設置	設置箇所数27箇所	18箇所	目標	18箇所	23箇所	26箇所	26箇所	27箇所	○		
						実績	18箇所	18箇所	18箇所	18箇所	18箇所			
			理由 残留WEBシステムと適量放水の運用により当初目的達成。これ以上の設置が不要になった。											
	残留塩素復活装置の設置	設置箇所数11箇所	2箇所	目標	2箇所	2箇所	2箇所	11箇所	11箇所	○				
				実績	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所					
	理由 残留WEBシステムと適量放水の運用により当初目的達成。これ以上の設置が不要になった。													
給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事事業者研修会の開催	研修有効率	-	目標			95.0%			△			
					実績			未算出						
					理由 全国共通のテキスト・カリキュラムで周辺市町村と共同開催した研修で試験・アンケート無し。指標値未算出のため△。									
信頼性の高い水道システムの確立	水道施設の計画的更新	水源の見直しによる施設の効率的再編	御津地区水源調査	揚水可能量	5,800m ³ (公称施設能力)	予想	5,800m ³	6,800m ³			○			
						結果		4,200m ³ (調査・結果)						
						理由 5,800m ³ 、6,800m ³ は調査の予想値。水源調査済みで、調査結果に基づき再編計画検討中のため○。								

※1 単年度目標数値に未達成があるが、5年間の総計比較で目標値を実績値が超えていたり、概ね達成していることから目標達成に加えたもの。

※2 目標年度に達成していないが、5年間の間に達成していることから○としたもの。

公表数値の訂正について

とりまとめの際、数値の誤りが見つかりました。以下のとおり訂正します。

正 誤 一 覧

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	公表実績値の正誤					
					区 分	H24	H25	H26	H27	H28
安全でおいしい水の供給	水道水源の保全	水源林事業の継続実施	水源林事業 (鏡野町、新庄村)	間伐実施面積	誤		0ha			
					正		4.4ha			
					原因	保育間伐・除伐を算入していないことが判明。				
安全でおいしい水の供給	給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事事業者 研修会の開催	研修参加率	誤			98.5%		
					正			95.6%		
					原因	使用数値誤り				
信頼性の高い水道システムの確立	運用・管理機能の強化	効率的な水運用	半田山配水池調整弁更新	影響世帯数	誤				0世帯	
					正				165,000世帯	
					原因	影響世帯数は、調整弁に事故があつたら影響のおそれのある世帯数のこと。工事完了前は165,000世帯が続く。工事は平成29年度完工。				
信頼性の高い水道システムの確立	水道施設の計画的更新	水源の見直しによる施設の効率的再編	御津地区水源調査	揚水可能量	誤	5,800m ³	4,200m ³			
					正		4,200m ³ (調査・結果)			
					原因	この項目のみ、目標値のところに調査後の予想値が載っていた。				
お客様の満足に 応える水道づくり	徴収事務の効率化	検針から収納まで一貫した料金徴収業務の効率化	検針・滞納整理・清算業務等の一括委託	収納率	誤				99.90%	
					正				99.84%	
					原因	使用数値誤り				

岡山市水道事業総合基本計画(アクアプラン 2007)の総括について

1 概要

○岡山市水道事業総合基本計画（アクアプラン2007）

◇基本理念

「ゆるぎない安心と信頼の追求 — 新たな100年に向けての決意」

◇計画期間 平成19年度～28年度（10年間）

◇策定主旨

水道事業を取り巻く環境は、伸び悩む水需要、少子高齢化社会や節水型社会の到来、安全やおいしさに対するお客様の関心の高まりなど大きく変化し、また水道施設の老朽化による更新や災害対策など、これらに伴う財政負担、更には職員の大量退職に伴う技術の継承など将来にわたる安定的な経営基盤の確立が大きな課題となりました。これらの変化を踏まえ、より一層、効果的な事業運営を進めるために策定したものです。

2 具体的取組

基本理念のもと、「誰でも安心して飲める**安全な水道**」、「断水の無い**安定した水道**」、「災害に強いたくましい**水道**」、「お客様に信頼される**親しみの水道**」、「自然を守る**やさしい水道**」の5つの目標を実現するため、6つの柱として以下の基本施策を定め、各種具体的取組を実施しました。

基本施策	主要事業	主な具体的取組
安全でおいしい水の供給	○ 水道水源の保全	・水源林事業
	○ 浄水処理のレベルアップ	・三野浄水場整備
	○ 水質検査・管理体制の充実	・残塩WEBシステムの確立
	○ 給水装置等の適正な維持管理	・水質検査機器の整備
	○ 鉛製給水管の早期解消	・水道GLPの認証取得・継続 ・直結給水推進
	○ 水源から蛇口まで一貫した管理体制の構築	・鉛製給水管の解消 等

基本施策	主要事業	主な具体的取組
信 水 道 性 シ の 高 い の ム 確 立	○ 水需要に応じた安定施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽管、老朽施設の計画的更新 ・石綿管の更新 等
	○ 運用・管理機能の強化	
	○ 水道施設の計画的更新	
災 害 に 強 い 水 道 づ く り	○ リスク管理体制の充実 (災害被害の未然防止)	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震管の標準採用 ・施設・管路の耐震化 ・配水池2池化 ・応急給水マップ作成 等
	○ 危機管理体制の充実 (災害発生時の対応)	
お 客 さ ま の 満 足 に 水 道 づ く り	○ 受付体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様センター設置 ・検針及び滞納整理ほか業務の一括委託 ・Q&Aのホームページ掲載 ・イベント開催・水道出前講座 ・インターネット情報発信 ・意識調査実施 ・庁舎等の整備 等
	○ 徴収事務の効率化	
	○ 水道料金支払の利便性向上	
	○ 多様な料金メニューの考案	
	○ 広報・広聴の充実	
	○ サービス拠点の整備	
行 財 政 に よ る 経 営 基 盤 強 化	○ 継続的な行財政改革	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の適正化 ・企業債残高の縮減 ・事業取組実績及び評価のホームページ公表 ・研修施設設置・技術研修 ・地元住民や小学生等との防災訓練 等
	○ 財政基盤の強化	
	○ 事業評価の充実	
	○ ICT(情報通信技術)の活用	
	○ 組織の活性化と技術の継承	
	○ 協働による水道事業	
資 源 循 環 シ ス テ ム の 水 道 構 築	○ 環境マネジメントシステムの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001の認証取得拡大 ISO14001に準拠した独自EMS活動 ・漏水防止事業の推進 ・浄水発生土の有効利用 ・太陽光発電・小水力発電設備整備 等
	○ 水源保全活動 豊かな森づくり・水づくり	
	○ 水の有効利用	
	○ 資源リサイクルの推進	
	○ CO ₂ 削減の促進	

3 総括

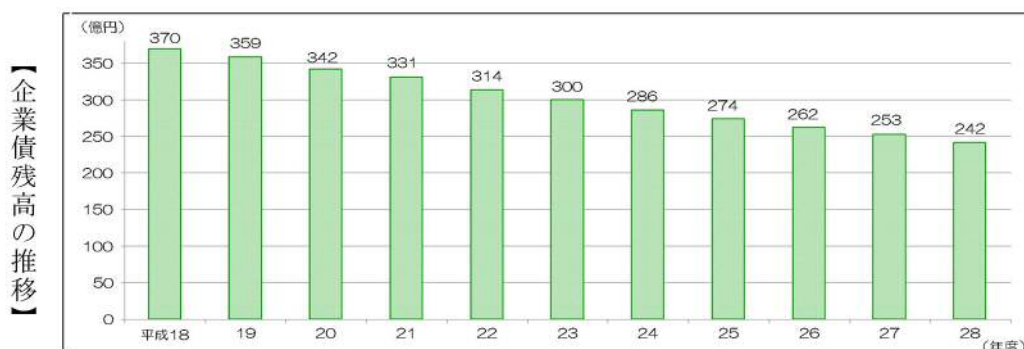
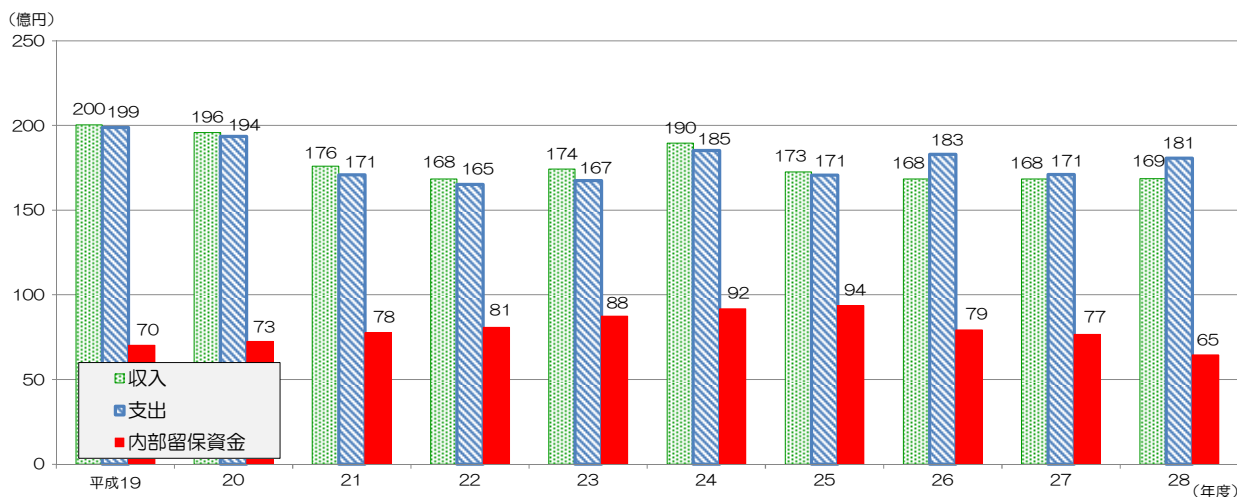
10年間の総執行額は、計画事業費総額694億円に対し、670億円、執行率96.5%で概ね予定どおりに進捗しました。財政状況につきましても、給水収益の減収傾向が続く厳しい状況のなか、企業債の借入縮減を着実に進めながら、経営基盤の強化に努めました。

① 事業費

単位：百万円

項目	計画事業費	執行額	執行率
1 安全でおいしい水の供給	3,993	3,683	92.2%
2 信頼性の高い水道システムの確立	56,019	52,328	93.4%
3 災害に強い水道づくり	4,225	3,456	81.8%
4 お客様の満足に応える水道づくり	4,084	6,457	158.1%
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	91	76	83.5%
6 資源循環型の水道システムの構築	1,031	1,014	98.4%
合計	69,443	67,014	96.5%

② 財政状況



③ 主な指標値の推移等

項目	平成18年度	平成28年度 ()は目標値	増減	備考
鉛製給水管解消率	36.40%	92.1% (100.0%)	55.7	
老朽管の更新延長		276.2km (240km)		H21からの累計更新延長
石綿管解消率	51.20%	98.6% (100.0%)	47.4	
配水池耐震化率	21.40%	57.9% (43.4%)	36.5	
加圧ポンプ場耐震化率	15.60%	48.8% (30.8%)	33.2	
管路耐震化率	3.70%	16.2% (15.0%)	12.5	
基幹管路耐震化率	22.30%	41.9% (29.4%)	19.6	
医療施設等への配水管の耐震化(カ所数)	0	14カ所 (3カ所)	14	
収納率	99.77%	99.84% (99.80%)	0.07	
職員数	401人	342人 (345人)	-59	
企業債残高	370億円	242億円 (255億円)	-128	※少ない方が良好
支払利息の削減		3,798百万円 (2,841百万円)		10年間の削減累計額
有収率	88.50%	90.8% (90.0%)	2.3	
水源林事業 間伐実施面積		24ha/5年 (25ha/5年)		平成24年度からの目標と実績
小学校等への水道出前講座		34件/5年 (35件/5年)		平成24年度からの目標と実績
防災訓練実施		3~6回/年 (3回/年)		平成24年度からの目標と実績
応急給水マップの作成	平成22年度に作成しアクア通信で全戸配布、局HPで公表 平成26年度アクア通信で全戸配布			
技術研修実施	平成20年度に旭東浄水場構内へ技術研修所を設置し、以後、毎年、維持管理研修、応急給水研修を実施			
クリーンエネルギーの推進	平成22年度に三野浄水場へ太陽光発電設備を設置 平成26年度に東区福治へ小水力発電設備を設置 平成28年度に本局新庁舎へ太陽光発電設備を設置			

宅内修繕対応事業者のホームページ掲載について

1 目的

お客さまが宅地内の水漏れ等で修繕を依頼する際、指定給水装置工事事業者（以下「指定工事事業者」という。）を選びやすい情報を、局ホームページに掲載することにより、お客さまサービスの向上を目指す。

2 現状

お客さまが水漏れ等で修繕が必要となったとき、どこに依頼したらよいかわからず局へ紹介を求める電話がある。

現在は、局ホームページに掲載されている指定工事事業者一覧（平成 30 年 1 月 1 日現在 521 社）を案内しているが、掲載内容は所在地、事業所、電話番号だけで情報が少なく、お客さまの求める要望に対応できるかどうか確認できない。

また、指定工事事業者の中にも、取引のある建築業者、ハウスメーカー、知り合いのお客さまの依頼であれば受けるが、不特定多数のお客さまからの急な依頼は、対応できない指定工事事業者も多い。

3 掲載項目

- (1) 事業者名
- (2) 所在地
- (3) 営業時間
- (4) 休業日
- (5) 電話番号
- (6) 時間外の相談の可否
- (7) 修繕受付や施工が可能な地域
- (8) 対応可能な修繕工事

新たに掲載する項目 (3)、(4)、(6)～(8)

4 今後の予定

ホームページで確認できないお客さまに対しては、局の広報紙等により周知を行う。